

改訂第3版 遺伝子工学実験ノートの構成と使い方

本書の構成

「無敵のバイオテクニカルシリーズ 改訂第3版 遺伝子工学実験ノート」は上・下巻2冊で構成されています。いずれも遺伝子実験操作をわかりやすく、丁寧に解説し、読者の皆様が正しく実験を行ううえでお役に立つことと思います。

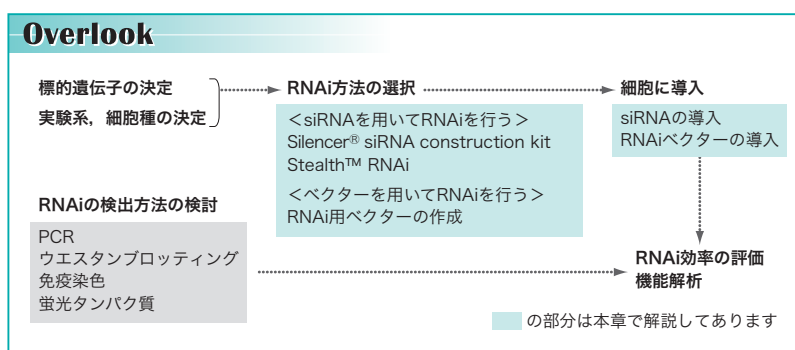
上巻では遺伝子の取扱いや大腸菌の培養、プラスミド精製、酵素処理、電気泳動など遺伝子工学において日常頻繁に行われる基本的な実験操作から、サブクローニング、PCRによるDNA増幅までを、下巻には実際の実験結果を得るための解析法（シーケンシング、サザンブロット法、ノーザンブロット法、リアルタイムPCRなど）が中心に掲載されています。また、近年、分子生物学研究に欠かせない技術となってきた、細胞への遺伝子導入とRNAiについても初学者にわかりやすく解説しています。

本書の使い方

まず目的とする実験操作について書かれた章に一通り目を通して下さい。実験の概念、必要な器具・試薬類（使用可能な保存期間）、所要時間、細かなコツなどが把握できるようになっています。

1 Overlook について

それぞれの章の最初にその章全体の実験の流れを一目で把握できるような概略図を載せました。コンパクトにまとめてありますので、本文を読み始める前にまずご覧ください。



2 マークについて

本文中に出てくるマークは以下のような意味を表します。

準備するもの …… 準備するものを箇条書きで紹介しています。調製が必要な試薬についてはその組成も紹介しています。

One point …… ちょっとしたコツ、失敗への対処など、まさにワン・ポイントです。

プロトコール …… コツや注意点、工夫点も解説したプロトコールです。

🌙 …… オーバーナイト処理が可能であることを意味します。

🕒 …… 実験に必要な所要時間です。実験計画を立てるうえの目安として下さい。

3 “水”の表記について

本書では、特に断わらない限り下のいずれかの水を使用しています。

純水：一次純水。通常のイオン交換後の蒸留水に匹敵。大腸菌の培養、電気泳動用バッファー、器具のすすぎに使用します。

超純水：純水をさらに精製したもので、2回蒸留水、あるいはそれ以上の純度に相当します。生化学実験、および最後のすすぎなどに使用。組織培養も、通常の細胞であればこの水が用いられます。

【注意事項】 企業名、商品名やURLアドレスについて

本書の記事は執筆時点での最新情報に基づいていますが、企業名、商品名の変更、各サイトの仕様の変更などにより、本書をご使用になる時点においては表記や操作方法などが変更になっている場合がございます。また、本書に記載されているURLは予告なく変更される場合がありますのでご了承下さい。